

おわりに

近年、子どもを被害者とする痛ましい事件が相次いで発生しています。また、私たちの身の回りで「声かけ」事案を頻繁に耳にするようになりました。

私が暮らしたことがある英国では、保護者が小学生の登下校に付き添うのは当たり前です。さらには付き添わないで子どもを危険にさらすのは児童虐待とされます。子どもが狙われているのです。幸い、日本ではまだ、登下校に保護者が付き添わなければならない状況には至っていません。しかし、ほうっておくと、日本も英国のようになってしまうことは十分考えられます。子どもたちを犯罪から守ること、そして子どもたちの元気な声がまちかどに、村の広場に溢れていること、それは子どもにとっても大人にとっても幸せな日常ではないでしょうか。「子どもたちをどのように犯罪被害から守るのか」、このことが、今社会が取り組まなければならない重要なテーマとなっています。

本研究会のタイトルは「子どもに対する被害防止教育に関する調査研究」であり、研究会に与えられた課題は子どもを犯罪被害から守るための、今もっとも有望な方法である子ども防犯教室の現状と課題を調査研究することでした。しかし、われわれは明らかに課題から逸脱してしまいました。調査研究の過程で、目の前の子ども防犯教室を効果的に行うために、現場では今すぐに使える防犯教室の具体的な指針と具体的なノウハウが強く求められていることを知ったのです。われわれは、調査研究を行うよりも、効果的な防犯教室のあり方・考え方とそれを行うための具体的な方法を提示することを新たな課題としました。

このようないきさつで生まれた本書はできるかぎり具体的で簡潔に子ども防犯教室の目的を提示し、そして同じくできるだけ具体的で簡潔に子ども防犯教室のマニュアルを提供することを心がけました。本書を読まれた皆さんが、子ども防犯教室の第一線で本書を活用していただけることが私たちの願いです。

「子どもに対する被害防止教育に関する調査研究会」代表

青山学院大学 教授 樋田大二郎



着ぐるみや紙芝居などを活用した防犯教室(和歌山県)

索引

- 防犯教室の事例
6, 7, 8, 9, 10, 11
- 子どもの発達
12, 13, 14, 16, 18, 20
- 防犯教育・指導のポイント
12, 13, 15, 17, 19, 21
- 防犯活動のネットワーク
3, 22, 23, 24, 25
- 園や学校に関する内容
3, 6, 7, 8, 9, 10, 11, 22, 23, 24, 25, 26, 63, 69, 70
- 保護者に関連する内容
3, 22, 23, 24, 25, 71, 72, 73, 74
- 警察に関する内容
3, 22, 23, 24, 25, 26, 60, 61, 62, 75, 76, 77
- 犯罪被害の現状と分析
60, 61, 62
- プログラムについて
〈プログラム作成〉
26, 27
〈プログラム内容〉
 - *いのちについて学ぶ
28, 29, 38, 46, 55
 - *外出時の危険について学ぶ
30, 31, 32, 33, 34, 35, 39, 40, 42, 44, 48
 - *危険な場所について学ぶ
32, 33, 34, 35, 44
 - *不審者について考える
30, 31, 47,
 - *クイズで学ぶ
29, 40, 66, 67, 68, 69, 70, 71, 72, 73, 74
 - *体を動かして身につける
36, 42, 43, 50, 51, 56, 57, 58
 - *教材を使って学ぶ
29, 30, 31, 32, 33, 34, 35, 40, 44, 52, 57, 58
 - *防犯標語で学ぶ
41, 49, 65
 - *まとめとポイント
37, 45, 53, 59
- 資料
 - *防犯教室に関する事前アンケート用紙 63
 - *幼児用ぬりえ 64
 - *防犯標語 いかのおすしをおぼえよう! 65
 - *子ども防犯 YES・NO クイズ 66, 67, 68
 - *子どもの安全確認シート【先生用】 69, 70
 - *子どもの安全確認シート【小学校低～中学年の保護者用】 71, 72
 - *子どもの安全確認シート【小学校中～高学年の保護者用】 73, 74
 - *参考にしたい、子ども防犯関連サイト 75
 - *各都道府県警察の子ども防犯に関する URL 76, 77

参考文献

- 「平成 18 年度 青少年白書」内
4 年年齢ごとの施策の基本的方向
<http://www8.cao.go.jp/youth/whitepaper/h18zenbun/html/ref/rf03004.html>
- 山口県 / 学校安全・体育課 / 危機管理・指針
「危機管理マニュアルの実効性を高めるために」内
「各発達段階における安全教育の重点目標」
<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50500/riskmanage/manualtop.html>
http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50500/riskmanage/manualtop/apd1_24_2007020726172735.pdf
- 「あいちの教育に関するアクションプラン」内
「各論・取り組みの体系」
<http://www.pref.aichi.jp/0000000650.html>
<http://www.pref.aichi.jp/cmsfiles/contents/0000000/650/5torikumitaikei.pdf>
- 『犯罪の危険から子どもを守る！ 子どもと親の不安を解消する 77 のヒント』横矢真理（学習研究社・2005）
- 『「まさか」の犯罪・事故からわが子を守る 7 つのルール』横矢真理（講談社・2007）
- 『こんなときどうする？ 犯罪から身を守る絵事典 “安全について考えよう”』国崎信江・K セキュリティー（PHP 研究所・2006）
- 『安全な学校をつくる 不審者対策研修ハンドブック』国崎信江・NPO 法人キャリア・ワールド（教育開発研究所・2005）
- 『犯罪から子どもを守る 園での対策 家庭への働きかけ』国崎信江（学習研究社・2006）

『子どもに対する被害防止教育に関する調査研究会』

【代表】

●樋田 大二郎（青山学院大学 文学部教育学科教授）

【委員】五十音順・敬称略

●風上 正樹（埼玉県警察 生活安全企画課防犯のまちづくり推進室 警部）

●国崎 信江（危機管理教育研究所 危機管理アドバイザー）
* 第3章、第4章(p.69～74 子どもの安全確認シート)執筆

●熊谷 公人（警察庁 生活安全局生活安全企画課 警部）

●齋藤 ひとみ（警視庁 生活安全総務課生活安全対策第三係長 警部）

●島田 貴仁（科学警察研究所 犯罪行動科学部犯罪予防研究室 主任研究官）
* 第4章(p.60～62 子どもの犯罪被害の現状と分析)執筆

●中嶋 雄一（株式会社学習研究社 学研教育総合研究所 幼児教育研究室室長）

●久田 誠（警察庁 生活安全局生活安全企画課 課長補佐 警視）

●横矢 真理（特別非営利活動法人 子どもの危険回避研究所 所長）
* 第1章(p.10～11 パネルを使用&全校で実施した事例)
第2章、第3章(p.32～35 危険な場所ってどんな場所？／公園パネル「クマちゃん探し」）、
第4章(p.66～68 子ども防犯YES・NOクイズ)執筆

●渡辺 昭一（財団法人 社会安全研究財団 研究主幹）

編集協力・記録 指田和子
デザイン 堀江京子 (netz.inc)
表紙イラスト 佐古百美
本文イラスト 丸田佳代子、小沢ヨマ、マメリツコ (p.64)

子ども防犯教室の手引き&プログラム集

平成20年3月31日初版第1刷発行

発行 財団法人 社会安全研究財団
〒101-0047 東京都千代田区内神田1丁目7番8号（大手町佐野ビル6階）
電話 03-3219-5177 FAX 03-3219-2338

企画・編集 財団法人 社会安全研究財団内「子どもに対する被害防止教育に関する調査研究会」
代表 樋田大二郎
学研教育総合研究所

印刷 開成堂印刷株式会社

* 禁無断転載

* 本「防犯教室の手引き&プログラム集」を引用する際は、出典を明らかにし、転載された刊行物、公表資料などを「財団法人 社会安全研究財団」までお送りください。